

県内企業景況調査結果

[2019年10～12月期実績、2020年1～3月期見通し]

沖縄振興開発金融公庫 調査部発表

— 県内景況は、消費税増税等の影響により、拡大の動きに一服感がみられる—

調査結果のポイント

1. 業況判断 D.I.

実績(10～12月期)：「好転」超から「悪化」超へ転じ、27期ぶりにマイナス
〔前期9.6%ポイント(以下、単位省略)⇒当期△3.4〕

- ・個人消費関連業種で、消費税増税後の反動減により悪化
- ・観光関連業種の一部で、台風の影響等によりマイナスへ

見通し(1～3月期)：来期は「悪化」超から「好転」超へ転じる見通し(来期0.6)

- ・一部業種で消費税増税の影響がやや薄れ、プラスとなる見込み

2. 景況天気

実績：27期連続「☀️(晴れ)」(前期18.7⇒当期11.6)

卸売業で「☀️(快晴)」→「☀️(晴れ)」

製造業、小売業、運輸業で引き続き「☀️(晴れ)」

情報通信業、飲食店・宿泊業で「☀️(晴れ)」→「☁️(薄曇り)」

建設業、サービス業で引き続き「☁️(薄曇り)」

見通し：「☀️(晴れ)」となる見通し(来期13.7)

建設業、情報通信業で「☁️(薄曇り)」→「☀️(晴れ)」

製造業、卸売業、小売業、運輸業で引き続き「☀️(晴れ)」

サービス業、飲食店・宿泊業で引き続き「☁️(薄曇り)」

3. 売上 D.I.

実績：「増加」超から「減少」超へ転じる(同9.9⇒同△6.5)

見通し：「減少」超幅がやや縮小の見通し(同△2.5)

4. 採算水準 D.I.

実績：「黒字」超幅がほぼ横這い(同37.7⇒同36.9)

見通し：「黒字」超幅がやや拡大の見通し(同40.6)

5. 資金繰り D.I.

実績：「楽」超幅がやや縮小(同8.4⇒同4.3)

見通し：「楽」超幅がほぼ横這いの見通し(同3.1)

沖縄振興開発金融公庫 調査部

[調査内容についてのお問い合わせ先]

調査部 金融経済調査課(担当：名渡山)

沖縄県那覇市おもろまち1-2-26

電話：098-941-1725 FAX：098-941-1920

I. 調査要領

1. 調査目的

本調査は、県内における企業の景況を把握し、企業経営のための情報を提供することを目的とする。

2. 調査対象

沖縄県内に本社のある法人企業のうち、原則として資本金1千万円以上かつ従業員数20名以上の企業を対象とする。

3. 調査対象企業数及び回答状況

業種	項目	調査対象企業数	回答数	回答率 (%)
		(A)	(B)	(B)/(A)×100
全業種		357	325	91.0
製造業		65	60	92.3
建設業		67	63	94.0
卸売業		43	37	86.0
小売業		47	41	87.2
運輸業		33	33	100.0
情報通信業		23	22	95.7
サービス業		48	43	89.6
飲食店・宿泊業		27	22	81.5

※全産業には電力・ガス、不動産業が含まれるため、各業種合計と全業種の値は一致しない。

4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送し、自計記入を求める方法による。

5. 調査対象期間

当期 … 2019年10～12月期実績 来期 … 2020年1～3月期見通し

6. 調査実施期間

2019年11月下旬～2019年12月下旬

(発送：2019年11月20日、回収基準日：2019年12月6日)

7. 用語説明等

- (1) 本調査は、原則として前年同期との比較による調査であるが、採算水準、在庫水準、雇用判断については当該期に関する質問となっている。
- (2) D. I. (Diffusion Index) とは、質問に対しプラス、中立、マイナスの3つの選択肢を用意し、このうちプラスと答えた企業の割合から、マイナスと答えた企業の割合を差し引いたものである。
- (3) 景況天気については、売上、採算水準、資金繰りD. I. を平均し、その値を5段階に区分して判定している。

II. 調査結果

1. 業況判断

— 当期は「好転」超から「悪化」超へ転じ、27期ぶりのマイナス
来期は「悪化」超から「好転」超へ転じる見通し —

(1) [2019年10~12月期実績]

自社の業況を総合的に判断する業況判断D. I. は、△3.4%ポイント（以下、単位省略）と「好転」超から「悪化」超へ転じ、27期ぶりの「悪化」超となった。

業種別にみると、建設業で「好転」超幅がほぼ横這いとなったものの、小売業、情報通信業で「好転」超から「悪化」超へ転じ、サービス業、飲食店・宿泊業で「保合い」から「悪化」超、卸売業、運輸業で「好転」超から「保合い」となり、製造業で「好転」超幅が大幅に縮小となった。

(2) [2020年1~3月期見通し]

来期の業況判断D. I. は0.6と、「悪化」超から「好転」超へ転じる見通しとなっている。

業種別にみると、建設業で「好転」超から「保合い」となるものの、情報通信業で「悪化」超から「好転」超へ転じ、卸売業で「保合い」から「好転」超となり、飲食店・宿泊業で「悪化」超幅が大幅に縮小、サービス業で「悪化」超幅が縮小、小売業で「悪化」超幅がやや縮小となり、製造業で「好転」超幅がほぼ横這い、運輸業で引き続き「保合い」の見通しとなっている。

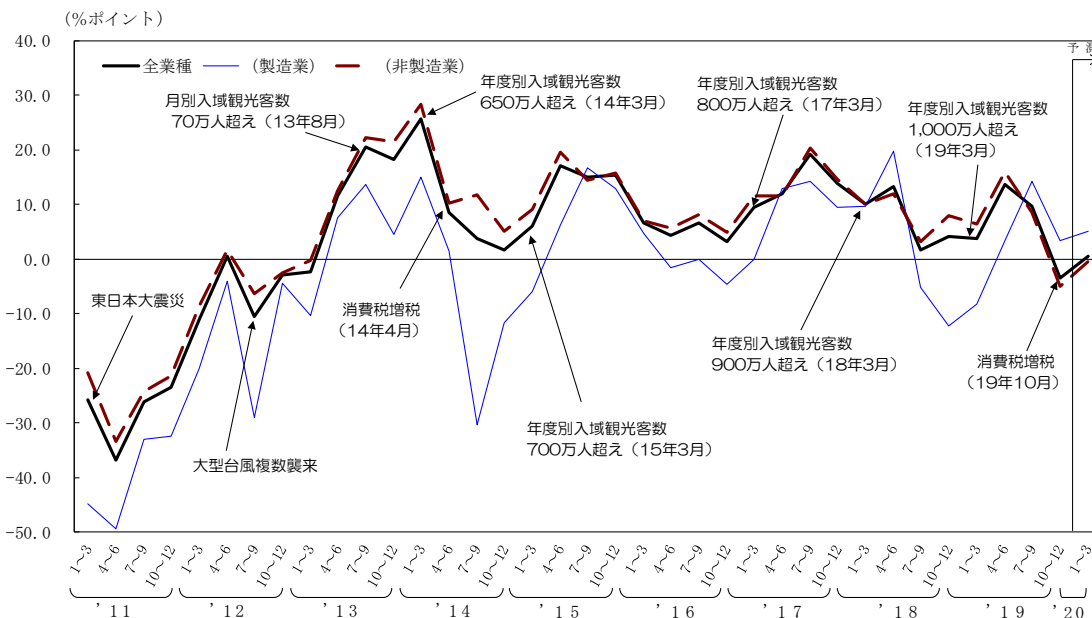
図表1-1. 業況判断D.I.

参考：業況判断D. I.（前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合）

（単位：%ポイント）

業種	区分	2018年		2019年				2020年
		7~9月期 実績	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 前回実績	10~12月期 前回見通し 今回実績	1~3月期 今回見通し
全業種	D. I. (①-②)	1.6	4.1	3.7	13.6	9.6	(1.5) △ 3.4	0.6
	① 好転(%)	21.9	23.3	24.7	27.6	26.5	(16.6)	20.0
	不変(%)	57.7	57.6	54.3	58.5	56.6	(68.4)	56.6
	② 悪化(%)	20.4	19.2	21.0	13.9	16.9	(15.1)	23.4
製造業		△ 5.1	△ 12.3	△ 8.2	3.3	14.3	(7.9)	3.3
建設業		18.6	9.2	9.4	12.9	1.6	(1.6)	3.2
卸売業		△ 7.5	16.7	7.7	23.1	23.1	(12.8)	0.0
小売業		△ 2.5	13.0	4.7	14.0	14.3	(△14.3)	△ 4.9
運輸業		△ 3.2	6.3	9.4	18.8	6.1	(△3.0)	0.0
情報通信業		26.3	15.8	4.8	4.5	13.6	(0.0)	△ 9.1
サービス業		△ 6.7	△ 12.5	4.5	15.6	0.0	(2.2)	△ 18.6
飲食店・宿泊業		4.3	8.7	0.0	22.7	0.0	(△4.8)	△ 22.7

図表1-2. 業況判断D. I. の推移



2. 景況天気

— 当期は27期連続「晴れ」、来期も「晴れ」の見通し —

(1) [2019年10～12月期実績]

当期の県内企業の動向を全業種ベースでみると、売上D. I. (9.9→△6.5)で「増加」超から「減少」超へ転じ、資金繰りD. I. (8.4→4.6)で「楽」超幅がやや縮小となるものの、採算水準D. I. (37.7→36.9)で「黒字」超幅がほぼ横這いとなり、景況天気(18.7→11.6)は27期連続「晴れ」となった。

業種別にみると、卸売業で「快晴」から「晴れ」、情報通信業、飲食店・宿泊業で「晴れ」から「薄曇り」、建設業、サービス業で引き続き「薄曇り」となるものの、製造業、小売業、運輸業で引き続き「晴れ」となった。

(2) [2020年1～3月期見通し]

来期の見通しは、資金繰りD. I. (3.1)で「楽」超幅がほぼ横這いとなるも、採算水準D. I. (40.6)で「黒字」超幅がやや拡大、売上D. I. (△2.5)で「減少」超幅がやや縮小となることから、景況天気(13.7)は引き続き「晴れ」の見通しとなっている。

業種別にみると、サービス業、飲食店・宿泊業で引き続き「薄曇り」となるものの、建設業、情報通信業で「薄曇り」から「晴れ」、製造業、卸売業、小売業、運輸業で引き続き「晴れ」の見通しとなっている。

図表2-1. 景況天気図

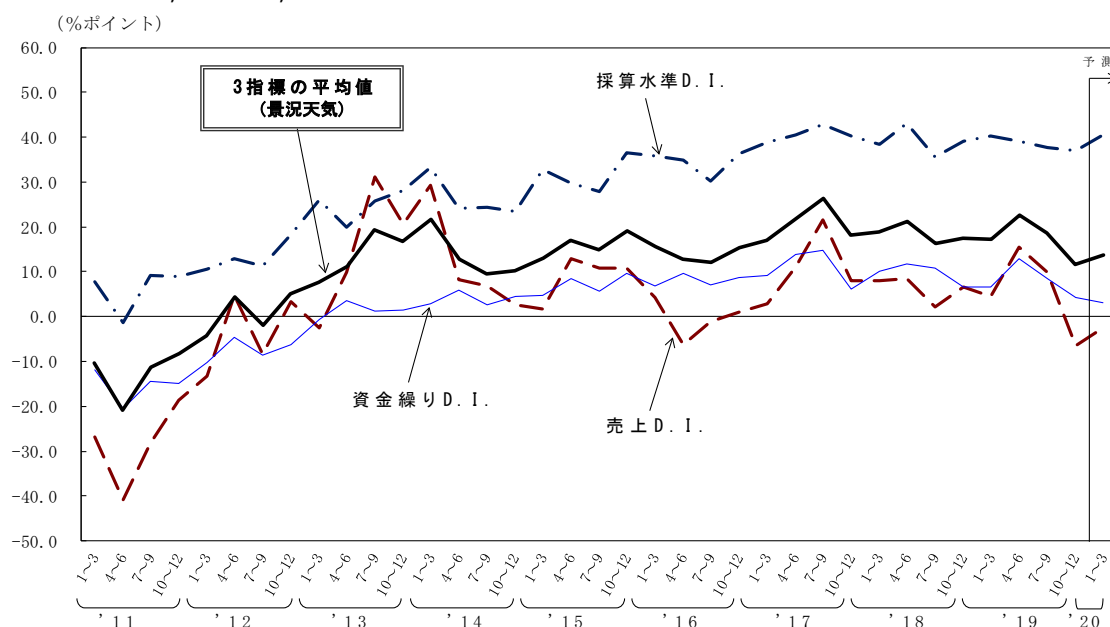
参考：景況天気（売上、採算水準、資金繰りD. I. の平均値）

（単位：％ポイント）

業種	区分	2018年				2019年			2020年
		7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 前回実績	10～12月期 前回見通し	今回実績	1～3月期 今回見通し
全業種		☀️ 16.2	☀️ 17.5	☀️ 17.2	☀️ 22.5	☀️ 18.7	☀️ (12.9)	☀️ 11.6	☀️ 13.7
製造業		☁️ 7.3	☁️ 9.2	☁️ 4.9	☀️ 15.8	☀️ 21.2	☀️ (14.8)	☀️ 18.9	☀️ 14.4
建設業		☀️ 22.6	☀️ 15.4	☀️ 19.8	☀️ 18.8	☁️ 7.4	☁️ (9.5)	☁️ 5.3	☀️ 11.6
卸売業		☀️ 24.2	☀️ 25.4	☀️ 25.6	☀️ 30.8	☀️ 35.9	☀️ (21.4)	☀️ 13.5	☀️ 21.6
小売業		☀️ 25.8	☀️ 23.9	☀️ 20.2	☀️ 20.9	☀️ 21.4	☁️ (3.2)	☀️ 13.0	☀️ 13.0
運輸業		☁️ 5.4	☀️ 26.0	☀️ 17.7	☀️ 35.4	☀️ 17.2	☀️ (24.2)	☀️ 24.2	☀️ 16.2
情報通信業		☀️ 19.3	☀️ 15.8	☀️ 27.0	☀️ 16.7	☀️ 19.7	☀️ (10.6)	☁️ 1.5	☀️ 25.8
サービス業		☁️ 3.0	☁️ 8.3	☀️ 16.7	☀️ 25.2	☁️ 9.6	☀️ (10.4)	☁️ 7.0	☁️ 6.2
飲食店・宿泊業		☀️ 27.5	☀️ 27.5	☀️ 15.9	☀️ 21.2	☀️ 27.0	☀️ (11.1)	☁️ 1.5	☁️ 4.5

☀️ 快晴 — 30以上～100以下 ☀️ 晴 — 10以上～30未満 ☁️ 薄曇り — △ 5以上～10未満
 ☁️ 曇り — △ 30以上～△ 5未満 ☔️ 雨 — △100以上～△30未満

図表2-2. 売上、採算水準、資金繰りD. I. 値の推移（全業種）



3. 売上

— 当期は「増加」超から「減少」超へ転じる 来期は「減少」超幅がやや縮小の見通し —

(1) [2019年10～12月期実績]

当期の売上D. I. は△6.5と、「増加」超から「減少」超に転じた。

業種別にみると、運輸業で「増加」超幅が拡大となったものの、卸売業、小売業、情報通信業、飲食店・宿泊業で「増加」超から「減少」超に転じ、建設業で「減少」超幅がやや拡大、サービス業で「増加」超から「保合い」、製造業で「増加」超幅が大幅に縮小となった。

(2) [2020年1～3月期見通し]

来期の売上D. I. は△2.5と、「減少」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

業種別にみると、サービス業で「保合い」から「減少」超となり、運輸業で「増加」超幅が大幅に縮小となるものの、小売業で「減少」超から「増加」超に転じ、製造業で「増加」超幅がやや拡大、卸売業、情報通信業、飲食店・宿泊業で「減少」超幅が大幅に縮小し、建設業で「減少」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表3-1. 売上D.I.

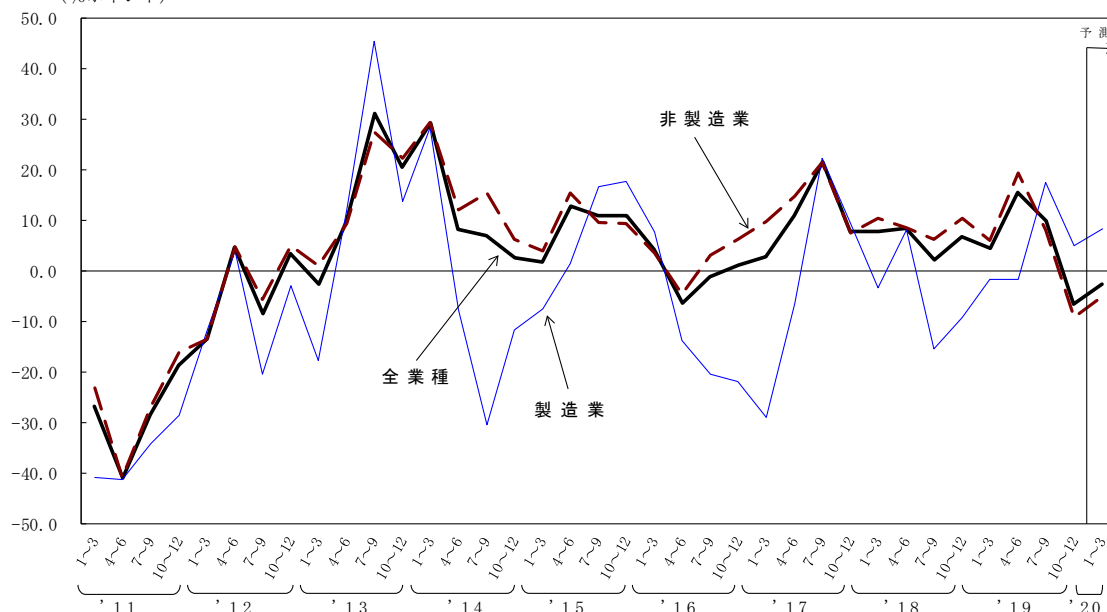
参考: 売上D. I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2018年				2019年			2020年
		7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期		1～3月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全業種	D. I. (①—②)	2.2	6.7	4.6	15.5	9.9	(△1.2)	△ 6.5	△ 2.5
	① 増加(%)	32.6	34.9	33.8	37.3	36.1	(21.7)	27.4	22.2
	不変(%)	37.0	36.9	36.9	40.9	37.7	(55.4)	38.8	53.2
	② 減少(%)	30.4	28.2	29.3	21.8	26.2	(22.9)	33.8	24.6
製造業		△ 15.3	△ 9.2	△ 1.6	△ 1.6	17.5	(3.2)	5.0	8.3
建設業		20.3	6.2	6.3	9.7	△ 11.1	(△1.6)	△ 14.3	△ 12.7
卸売業		5.0	11.9	0.0	23.1	30.8	(7.7)	△ 16.2	△ 2.7
小売業		15.0	17.4	7.0	16.3	11.9	(△21.4)	△ 4.9	7.3
運輸業		△ 9.7	31.3	15.6	34.4	12.1	(18.2)	18.2	6.1
情報通信業		5.3	△ 5.3	4.8	△ 4.5	9.1	(△22.7)	△ 40.9	△ 13.6
サービス業		△ 8.9	△ 2.1	9.1	33.3	2.2	(4.4)	0.0	△ 14.0
飲食店・宿泊業		8.7	13.0	△ 4.8	22.7	23.8	(△9.5)	△ 27.3	△ 4.5

図表3-2. 売上D. I. の推移

(%ポイント)



4. 採算水準

— 当期は「黒字」超幅がほぼ横這い、来期は「黒字」超幅がやや拡大の見通し —

(1) [2019年10~12月期実績]

当期の採算水準D. I. は36.9と、「黒字」超幅がほぼ横這いとなった。

業種別にみると、卸売業、飲食店・宿泊業で「黒字」超幅が大幅に縮小、小売業で「黒字」超幅が縮小、情報通信業で「黒字」超幅がやや縮小となったものの、運輸業で「黒字」超幅が大幅に拡大、製造業、サービス業で「黒字」超幅が拡大、建設業で「黒字」超幅がほぼ横這いとなった。

(2) [2020年1~3月期見通し]

来期の採算水準D. I. は40.6と、「黒字」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

業種別にみると、飲食店・宿泊業で「黒字」超幅が大幅に縮小、製造業、小売業で「黒字」超幅が縮小、運輸業で「黒字」超幅がやや縮小となるものの、建設業、情報通信業で「黒字」超幅が大幅に拡大、卸売業で「黒字」超幅が拡大、サービス業で「黒字」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

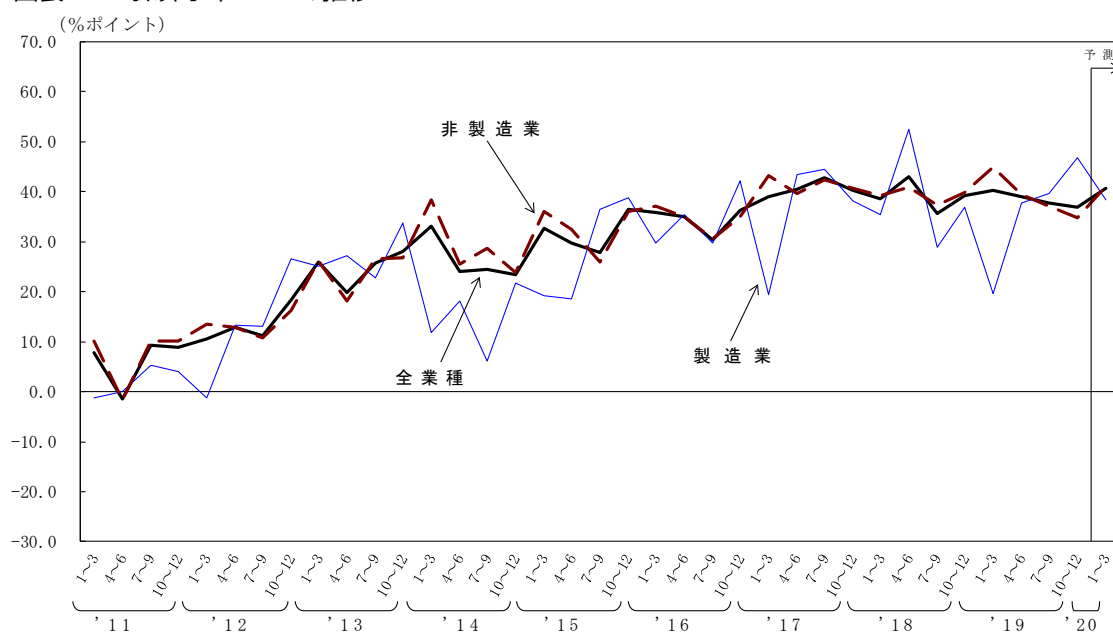
図表4-1. 採算水準D.I.

参考:採算水準D.I. (当期、「黒字」-「赤字」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2018年				2019年			2020年
		7~9月期		10~12月期		7~9月期		10~12月期	1~3月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全業種	D. I. (①-②)	35.7	39.2	40.2	39.1	37.7	(36.7)	36.9	40.6
	① 黒字(%)	48.3	48.8	50.0	49.4	47.6	(43.1)	47.1	49.8
	② 赤字(%)	39.2	41.6	40.2	40.3	42.5	(50.6)	42.8	40.9
	② 赤字(%)	12.5	9.6	9.8	10.3	9.9	(6.3)	10.2	9.2
製造業		28.8	36.9	19.7	37.7	39.7	(38.1)	46.7	38.3
建設業		37.3	38.5	42.2	33.9	27.0	(31.7)	25.4	44.4
卸売業		47.5	50.0	61.5	51.3	59.0	(48.7)	45.9	51.4
小売業		57.5	54.3	53.5	39.5	50.0	(40.5)	43.9	36.6
運輸業		16.1	28.1	25.0	53.1	27.3	(42.4)	45.5	42.4
情報通信業		36.8	36.8	66.7	36.4	31.8	(40.9)	27.3	63.6
サービス業		11.1	25.0	40.9	31.1	22.2	(22.2)	30.2	34.9
飲食店・宿泊業		56.5	43.5	28.6	27.3	47.6	(38.1)	27.3	13.6

図表4-2. 採算水準D. I. の推移



5-1. 資金繰り

— 当期は「楽」超幅がやや縮小、来期は「楽」超幅がほぼ横這いの見通し —

(1) [2019年10~12月期実績]

当期の資金繰りD.I.は4.3と、「楽」超幅がやや縮小となった。

業種別にみると、サービス業で「楽」超から「苦しい」超に転じ、小売業で「楽」超から「保合い」となったものの、卸売業で「楽」超幅が縮小、運輸業、飲食店・宿泊業で「楽」超幅がやや縮小、製造業、建設業で「楽」超幅がほぼ横這い、情報通信業で「楽」超幅が横這いとなった。

(2) [2020年1~3月期見通し]

来期の資金繰りD.I.は3.1と、「楽」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

業種別にみると、製造業で「楽」超から「苦しい」超に転じ、小売業で「保合い」から「苦しい」超、運輸業で「楽」超から「保合い」となるものの、卸売業、情報通信業で「楽」超幅が拡大、サービス業で「苦しい」超幅が縮小となり、建設業で「楽」超幅がほぼ横這い、飲食店・宿泊業で「楽」超幅が横這いの見通しとなっている。

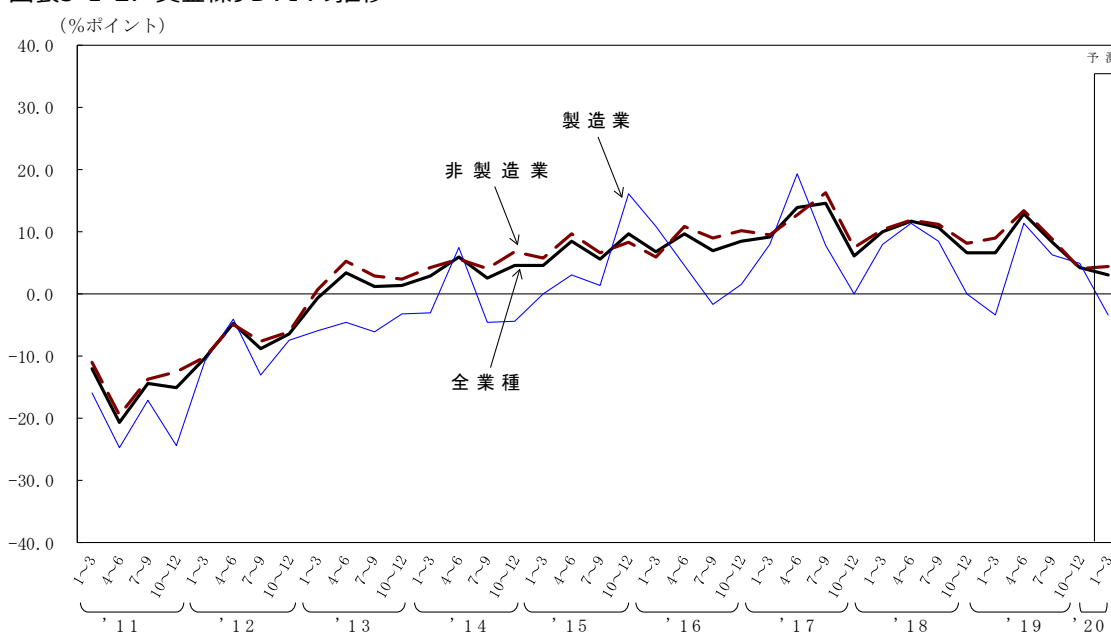
図表5-1-1. 資金繰りD.I.

参考:資金繰りD.I. (前年同期比、「楽」-「苦しい」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2018年		2019年				2020年	
		7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期		1~3月期
		実績	実績			前回実績	前回見通し	今回実績	
全業種	D.I. (①-②)	10.7	6.7	6.7	13.0	8.4	(3.0)	4.3	3.1
	① 楽 (%)	17.9	13.7	14.6	18.2	14.8	(9.6)	12.0	9.8
	不変 (%)	74.9	79.4	77.4	76.7	78.9	(83.7)	80.3	83.4
	② 苦しい (%)	7.2	7.0	7.9	5.2	6.3	(6.6)	7.7	6.8
	製造業	8.5	0.0	△ 3.3	11.5	6.3	(3.2)	5.0	△ 3.3
	建設業	10.2	1.5	10.9	12.9	6.3	(△1.6)	4.8	3.2
	卸売業	20.0	14.3	15.4	17.9	17.9	(7.7)	10.8	16.2
	小売業	5.0	0.0	0.0	7.0	2.4	(△9.5)	0.0	△ 4.9
	運輸業	9.7	18.8	12.5	18.8	12.1	(12.1)	9.1	0.0
	情報通信業	15.8	15.8	9.5	18.2	18.2	(13.6)	18.2	27.3
	サービス業	6.7	2.1	0.0	11.1	4.4	(4.4)	△ 9.3	△ 2.3
	飲食店・宿泊業	17.4	26.1	23.8	13.6	9.5	(4.8)	4.5	4.5

図表5-1-2. 資金繰りD.I.の推移



5-2. 借入難易

— 当期は「容易」超幅がやや縮小、来期も「容易」超幅がやや縮小の見通し —

(1) [2019年10～12月期実績]

当期の民間金融機関からの借入難易D.I.は4.9と、「容易」超幅がやや縮小となった。業種別にみると、卸売業、製造業で「容易」超幅がほぼ横這い、小売業で「容易」超幅が横這いとなったものの、運輸業、情報通信業で「容易」超から「保合い」となり、飲食店・宿泊業で「容易」超幅が縮小、建設業、サービス業で「容易」超幅がやや縮小となった。

(2) [2020年1～3月期見通し]

来期の借入難易D.I.は1.8と、「容易」超幅がやや縮小の見通しとなっている。業種別にみると、運輸業で「保合い」から「容易」超となるものの、情報通信業で「保合い」から「困難」超に転じ、小売業、サービス業で「容易」超から「保合い」となり、製造業で「容易」超幅が縮小、建設業、飲食店・宿泊業で「容易」超幅がやや縮小、卸売業で「容易」超幅が横這いの見通しとなっている。

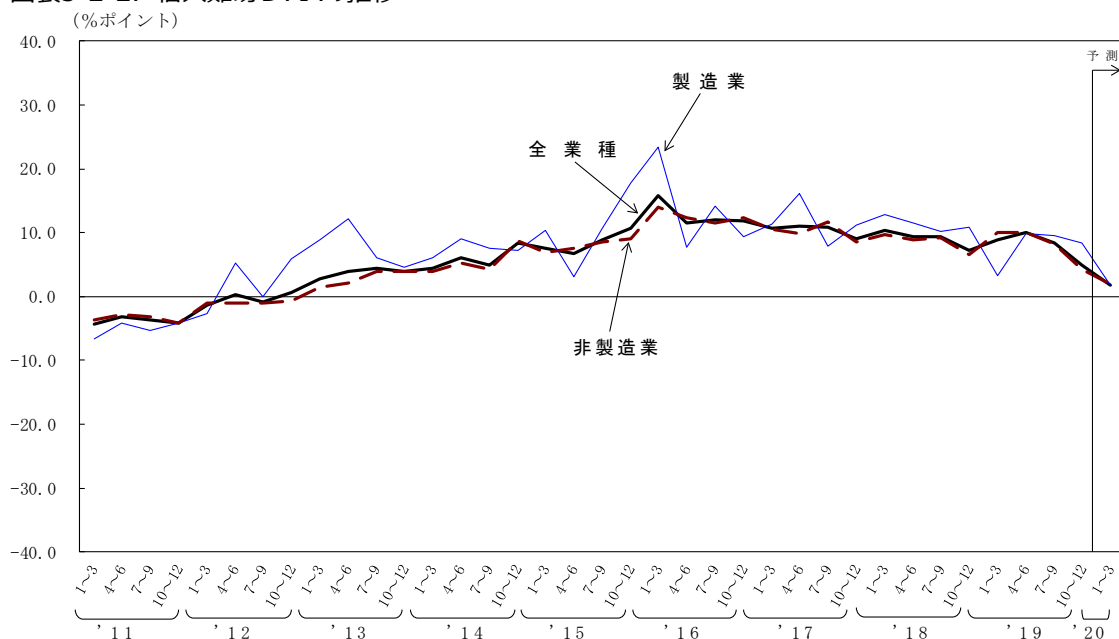
図表5-2-1. 借入難易D.I.

参考: 借入難易D.I. (前年同期比、「容易」-「困難」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2018年				2019年			2020年		
		7～9月期		10～12月期		1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 前回実績	10～12月期		1～3月期 今回見通し
		実績	実績	前回実績	今回実績				今回見通し		
全業種	D.I. (①-②)	9.4	7.3	8.8	10.0	8.4	(4.8)	4.9	1.8		
	① 容易(%)	11.6	10.5	10.4	11.8	11.4	(8.7)	8.3	6.5		
	不変(%)	86.2	86.3	88.1	86.4	85.5	(87.3)	88.3	88.9		
	② 困難(%)	2.2	3.2	1.5	1.8	3.0	(3.9)	3.4	4.6		
製造業		10.2	10.8	3.3	9.8	9.5	(4.8)	8.3	1.7		
建設業		18.6	7.7	9.4	11.3	11.1	(3.2)	7.9	3.2		
卸売業		15.0	9.5	12.8	15.4	5.1	(5.1)	5.4	5.4		
小売業		2.5	4.3	7.0	2.3	2.4	(△2.4)	2.4	0.0		
運輸業		9.7	9.4	9.4	6.3	9.1	(9.1)	0.0	3.0		
情報通信業		△ 5.3	0.0	14.3	9.1	13.6	(13.6)	0.0	△ 4.5		
サービス業		2.2	4.2	6.8	11.1	6.7	(2.2)	2.3	0.0		
飲食店・宿泊業		13.0	8.7	19.0	18.2	14.3	(14.3)	9.1	4.5		

図表5-2-2. 借入難易D.I.の推移



Ⅲ. 参考

参考 1. 販売数量（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「増加」超から「減少」超へ転じ、来期は「減少」超幅が縮小の見通し —

(1) [2019年10～12月期実績]

当期の販売数量D. I. は $\Delta 7.2$ と「増加」超から「減少」超に転じた。

業種別にみると、製造業、卸売業、小売業で「増加」超から「減少」超に転じた。

(2) [2020年1～3月期見通し]

来期の販売数量D. I. は $\Delta 0.7$ と、「減少」超幅が縮小の見通しとなっている。

業種別にみると、製造業で「減少」超から「増加」超に転じ、卸売業で「減少」超から「保合い」、小売業で「減少」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

表1. 販売数量D.I.

参考:販売数量D. I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2018年		2019年				2020年	
		7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 前回実績	10～12月期 前回見通し 今回実績		1～3月期 今回見通し
全業種	D. I. (①—②)	$\Delta 6.5$	$\Delta 2.0$	1.4	7.0	16.7	($\Delta 2.8$)	$\Delta 7.2$	$\Delta 0.7$
	① 増加(%)	26.6	29.4	29.4	31.5	40.3	(21.5)	27.5	23.2
	不変(%)	40.3	39.2	42.7	44.1	36.1	(54.2)	37.7	52.9
	② 減少(%)	33.1	31.4	28.0	24.5	23.6	(24.3)	34.8	23.9
	製造業	$\Delta 20.3$	$\Delta 6.2$	0.0	$\Delta 3.3$	20.6	(4.8)	$\Delta 3.3$	1.7
	卸売業	2.5	2.4	2.6	12.8	25.6	(7.7)	$\Delta 10.8$	0.0
	小売業	5.0	0.0	2.3	16.3	2.4	($\Delta 23.8$)	$\Delta 9.8$	$\Delta 4.9$

参考 2. 販売価格（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「上昇」超幅がほぼ横這い、来期は「上昇」超幅がやや縮小の見通し —

(1) [2019年10～12月期実績]

当期の販売価格D. I. は13.0と、「上昇」超幅がほぼ横這いとなった。

業種別にみると、卸売業で「上昇」超幅が大幅に縮小となったものの、小売業で「上昇」超幅が大幅に拡大、製造業で「上昇」超幅がほぼ横這いとなった。

(2) [2020年1～3月期見通し]

来期の販売価格D. I. は10.9と、「上昇」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

業種別にみると、卸売業で「上昇」超幅が拡大となったものの、製造業で「上昇」超幅が縮小、小売業で「上昇」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

表2. 販売価格D.I.

参考:販売価格D. I. (前年同期比、「上昇」-「下降」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2018年		2019年				2020年	
		7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 前回実績	10～12月期 前回見通し 今回実績		1～3月期 今回見通し
全業種	D. I. (①—②)	24.5	23.5	19.6	23.1	13.2	(11.1)	13.0	10.9
	① 上昇(%)	30.2	30.1	25.9	30.1	21.5	(24.3)	21.7	17.4
	不変(%)	64.0	63.4	67.8	62.9	70.1	(62.5)	69.6	76.1
	② 下降(%)	5.8	6.5	6.3	7.0	8.3	(13.2)	8.7	6.5
	製造業	23.7	15.4	16.4	21.3	14.3	(6.3)	15.0	8.3
	卸売業	25.0	35.7	23.1	30.8	23.1	(23.1)	8.1	16.2
	小売業	25.0	23.9	20.9	18.6	2.4	(7.1)	14.6	9.8

参考3. 在庫水準（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 「過剰」超幅がやや拡大 —

〔2019年12月期末〕

在庫水準D. I. は△5.8と、前期末と比べて「過剰」超幅がやや拡大となった。

業種別に見ると、小売業で「過剰」超幅が拡大、製造業で「過剰」超幅がやや拡大、卸売業で「過剰」超幅がほぼ横這いとなった。

表3. 在庫水準D.I.

参考：在庫水準D. I.（当該期末の水準、「不足」-「過剰」企業割合）

（単位：％ポイント）

業種	区分	2018年		2019年			
		9月期末	12月期末	3月期末	6月期末	9月期末	12月期末
全業種	D. I. (①—②)	△ 10.1	△ 5.9	△ 0.7	△ 9.1	△ 2.8	△ 5.8
	① 不足(%)	0.7	2.6	4.9	2.8	3.5	2.2
	適正(%)	88.5	88.9	89.5	85.3	90.3	89.9
	② 過剰(%)	10.8	8.5	5.6	11.9	6.3	8.0
	製造業	△ 11.9	△ 6.2	4.9	△ 13.1	△ 1.6	△ 5.0
卸売業	△ 7.5	△ 2.4	2.6	△ 10.3	△ 2.6	△ 2.7	
小売業	△ 10.0	△ 8.7	△ 11.6	△ 2.3	△ 4.8	△ 9.8	

参考 4. 雇用判断

－ 当期は「不足」超幅がやや拡大（34期連続の「不足」超）、
来期は「不足」超幅がやや縮小の見通し －

(1) [2019年10～12月期実績]

当期の雇用判断D. I. は53.8と、「不足」超幅がやや拡大となった。

業種別にみると、飲食店・宿泊業で「不足」超幅が大幅に縮小、製造業、情報通信業で「不足」超幅がやや縮小、サービス業で「不足」超幅がほぼ横這いとなったものの、建設業、卸売業、小売業、運輸業で「不足」超幅が拡大となった。

(2) [2020年1～3月期見通し]

来期の雇用判断D. I. は51.7と、「不足」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

業種別にみると飲食店・宿泊業で「不足」超幅が拡大となるものの、運輸業で「不足」超幅が縮小、建設業、卸売業、小売業、情報通信業で「不足」超幅がやや縮小、製造業で「不足」超幅がほぼ横這い、サービス業で「不足」超幅が横這いの見通しとなっている。

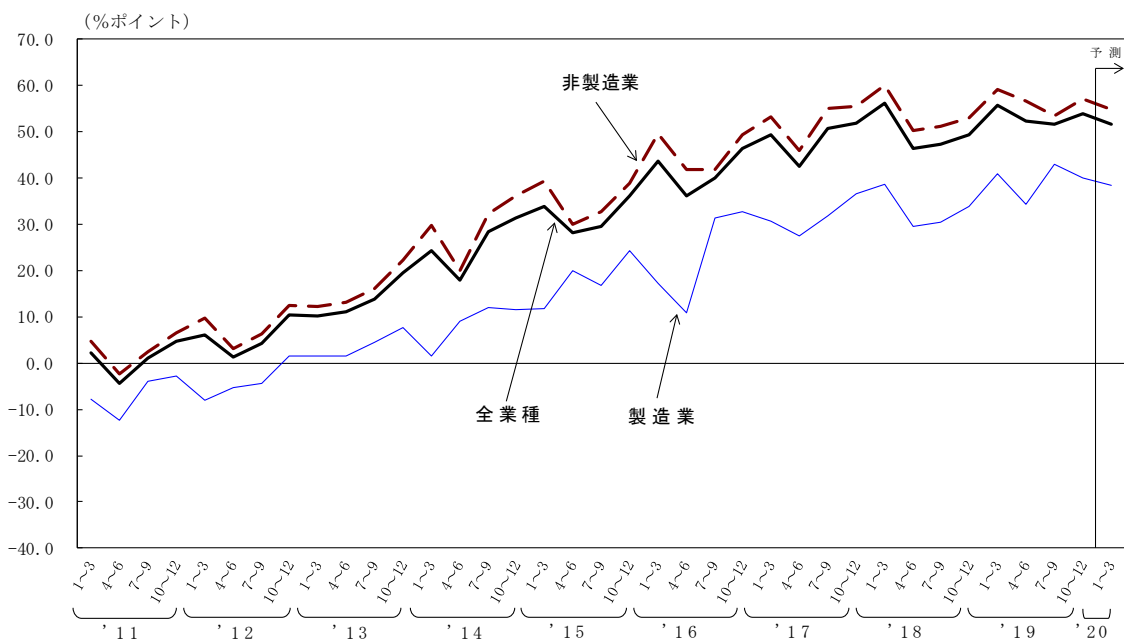
図表4-1. 雇用判断D.I.

参考：雇用判断D. I.（当該期、「不足」-「過剰」企業割合）

（単位：％ポイント）

区分 業種	2018年		2019年				2020年	
	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期		
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	
全業種 D. I. (①—②)	47.3	49.4	55.8	52.4	51.5	(51.8)	53.8	51.7
① 不足(%)	49.2	51.7	57.0	54.5	53.6	(52.7)	54.8	53.2
適正(%)	48.9	45.9	41.8	43.3	44.3	(46.4)	44.3	45.2
② 過剰(%)	1.9	2.3	1.2	2.1	2.1	(0.9)	0.9	1.5
製造業	30.5	33.8	41.0	34.4	42.9	(38.1)	40.0	38.3
建設業	47.5	60.0	65.6	59.7	49.2	(52.4)	57.1	54.0
卸売業	42.5	38.1	41.0	35.9	30.8	(35.9)	40.5	37.8
小売業	60.0	56.5	58.1	69.8	52.4	(52.4)	58.5	56.1
運輸業	45.2	59.4	59.4	62.5	54.5	(60.6)	60.6	51.5
情報通信業	10.5	31.6	38.1	36.4	50.0	(45.5)	45.5	40.9
サービス業	66.7	54.2	70.5	64.4	71.1	(71.1)	72.1	72.1
飲食店・宿泊業	73.9	65.2	76.2	59.1	76.2	(76.2)	63.6	72.7

図表4-2. 雇用判断D. I. の推移



参考 5. 経営上の問題点

— 20 期連続で「求人難」が最多となる —

[2019 年 10~12 月期実績]

当面の経営上の問題点としては、20 期連続で「求人難」（図表 5-1 の表頭⑩24.2%）の割合が最も高く、続いて「人件費の増加」（同⑤15.3%）、「設備・店舗の狭小等」（同⑪13.3%）の順となった。

業種別にみると、製造業で「設備・店舗の狭小等」の割合が最も高く、他の業種では「求人難」の割合が最も高い。

図表5-1.経営上の問題点(複数回答)

(単位：%)

区分 業種	① 売上の不振	② 製品安等	③ 利益の減少	④ 原材料高	⑤ 人件費の増加	⑥ 人件費以外 経費の増加	⑦ 代金 回収難	⑧ 借入難	⑨ 余剰人員	⑩ 求人難	⑪ 設備・店舗 の狭小等	⑫ 事業承継	⑬ その他
全業種	10.9	1.9	11.1	10.9	15.3	7.2	1.0	0.3	0.1	24.2	13.3	2.1	1.7
製造業	11.0	0.6	11.6	15.5	12.9	9.7	0.6	0.0	0.0	18.7	19.4	0.0	0.0
建設業	10.1	1.4	14.9	17.6	12.8	8.8	2.0	0.0	0.7	24.3	4.1	0.7	2.7
卸売業	7.1	4.7	12.9	5.9	16.5	9.4	1.2	1.2	0.0	22.4	16.5	1.2	1.2
小売業	12.8	2.1	10.6	6.4	17.0	2.1	2.1	1.1	0.0	24.5	16.0	3.2	2.1
運輸業	10.3	1.3	9.0	12.8	14.1	6.4	0.0	0.0	0.0	24.4	16.7	3.8	1.3
情報通信業	22.7	2.3	13.6	4.5	15.9	0.0	2.3	0.0	0.0	29.5	4.5	2.3	2.3
サービス業	8.6	2.9	7.6	4.8	20.0	8.6	0.0	0.0	0.0	29.5	12.4	3.8	1.9
飲食店・宿泊業	12.7	1.8	7.3	7.3	16.4	3.6	0.0	0.0	0.0	27.3	16.4	5.5	1.8

図表5-2. 経営上の問題点 (複数回答)

